

銭形企画ケアマネジメント事務所が移転します

この5月、銭形企画ケアマネジメント事務所はオフィスを移転します。引っ越しをするとは言っても、移転先は2軒隣のマンションの1階です。建物の1階に居を構えることで、今後は地域住民の方々や関係機関の皆様により気軽に立ち寄っていただける場所になればと考えています。新事務所のコンセプトは、『地域における在宅介護の何でも相談窓口』です。銭形企画ケアマネジメント事務所は、おかげ様で開業から10年目を迎えましたが、これまでに地域の数多くの方々のケアプランニングを手掛けて参りました。高齢者、障害者を問わず、幅広い介護ニーズに対応できる柔軟性を強みとして、これからも地域に根差したサービス提供に努めて参りますので、在宅介護に関するご相談・ご用命は、ぜひ当事務所までお寄せください。



《新住所》〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町594番地14 | 階
※電話・FAXの番号の変更はありません。

銭形企画『きょうと福祉人材育成認証制度』取得

この春、銭形企画は、京都府が実施する『きょうと福祉人材育成認証制度』において、「若者の働きがいと働きやすさに配慮した人材育成や職場への定着支援に取り組む福祉事業所」として、認証を受けました。銭形企画では昨春以降、主にデイサービスの職場をモデルとして、認証取得に向けた社内の人材育成制度の構築や規定の整備を進めてきましたが、この3月1日に晴れて認証事業所となることができました。3月15日、上京区のホテルで開催された認証式には、私たちを含めて5つの法人が出席し、認証書の交付と金屏風前での記念撮影に臨みました。既に京都府下およそ280の法人がこの認証を受けており、銭形企画の今回の取得は後発ではありますが、介護や福祉の職場が、若い人たちにとって夢や希望に満ち溢れた場所となるよう、今後も人材育成や労働環境整備に関する取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。



コロナに負けず外出を楽しむ ～デイサービス銭形～

今年のお花見はまさにてんこ盛り。先ずは3月末、平野神社～きぬかけの路・御室～宇多野・山越～嵯峨・太秦・西京極のドライブツアーを決行。平野神社では、境内に入りみんなで写真撮影。コロナ以降、車を降りてのお花見は2年ぶりです。お天気も晴れで温かく、ソメイヨシノやしだれ桜など色とりどりの桜は八分咲きといった様子。利用者さんからは、「やっぱり桜は車を降りて近くで観ないとなあ！」と期待通りの感想を頂けて職員も感無量でした！平野神社を後にした一行は、車窓からも桜と新緑の景色を満喫し、途中でレストランに立ち寄り、お寿司や天井、とんかつなどお好みのメニューで腹ごしらえ。食後にいちごパフェを注文された方もいて、みなさん、「満腹やあ！」と久しぶりの外食を堪能されていました。帰りは、右京区ふれあい文化会館（ここ穴場です！）の桜並木の下で再び写真撮影。もちろん、天神川の桜もゆっくりと眺めてきました。

4月に入るといよいよ桜は満開を迎えました。六孫王神社、鴨川沿い、木屋町高瀬川沿い、高野川沿い、上賀茂神社周辺と、毎日桜を追い求め京都市内を走り回り、「ここぞ！」と言う絶景スポットを見つけては、車を降りて写真撮影を行いました。連日ドライブに参加された利用者さんからは、「今年の花見は最高！」、「さすがにこれだけ観たら、もうエエやろ(笑)」などと、大満足のお声をいただくことができました。



4月12日と13日、デイサービス銭形では、『淡路島ハイウェイオアシス』への外出を行いました。府外へのお出かけは約1年半ぶりで、以前から「“まん防”が明けたら行ってみよう。」と計画をしていたドライブスポットです。両日ともに25度を超える夏日でしたが、海風が爽やかで、この時季ならではの観光気分を味わうことができました。館内には、定食や麺類のほか、特産の淡路牛や玉ねぎを使った丼ぶりや、名物の生しらす丼などがいただけるフードコートがあり、また、レストラン、ベーカリー、ドーナツショップ、カフェなどもあって、気分に合わせて色々なランチが楽しめます。海が見えるテラスやレストランで思い思いの昼食を堪能したあとは、次のお楽しみのお土産コーナーへ移動。さすがはご当地、“玉ねぎもの”はもちろん、瀬戸内、神戸、大阪などのお土産も陳列されていて種類も豊富。

京都市内からだと、およそ1時間半で行ける気軽さ。コロナ時代にあって、近場のサービスエリアや道の駅をめぐるドライブは、今後のデイサービス銭形の外出の定番の1つになるかもしれませ



子ども達の成長を感じる春～放課後等デイサービスこまち～



こまちでは、梅小路公園や近くの公園へお花見に行ってきました♪
梅小路公園へはお弁当を持って行き、桜を見ながらランチタイムを楽しみました。お花見に行ったその日は、梅小路公園のイベントステージでは『京都さくらよさこい』が開催されており、子どもた

は、お兄さんたちやお姉さんたちの超かっこいいパフォーマンスを前に、夢中になって観入っていました。イベントが終わり、演技者の方々に、いっしょに写真撮影をしたいとお願いすると快く応じてくださり、とても良い記念になりました。子どもたちは大喜びで、「よさこいチームに入りたい!」とつぶやく子もいました。新学期が始まり、また一つ大きくなった子どもたち。毎日成長していく子どもたちを、ご家族の皆さんとともにこれからも見守っていかれたらと思います。



今秋、『銭形まつり』復活開催～地域交流へ募る思い～

コロナ禍と呼ばれる時代が訪れ、はや3年が経ちました。世間では感染防止と社会経済活動の両立が図られるなか、銭形グループは、今年の秋、『銭形まつり』の開催を決定いたしました。この3年で、私たちは家族や友人など近い関係以外の人と集うことや触れ合うことに、心理的抵抗感を覚えるようになりました。

しかし、超少子高齢化という時代の大きな潮流のなかにあって、私たちは本来、他人や地域との繋がりを希求していたはずです。『銭形まつり』もまた、「日頃からお世話になっている近隣の方々に感謝の気持ちを伝えたい。地域とより深い絆を結びたい。」、そんな地元への愛着心から続けてきたイベントでした。それ故に、2年連続の中止は私たちにとって非常に残念で歯がゆい経験でした。この春、当グループは、地元の先輩企業であった塩谷クリーニング様から、店舗付き集合住宅『B.L.D シオタニ』を買い受け、『B.L.D 銭形』に改称。今月、“地域の在宅介護の何でも相談窓口”と銘打って、銭形企画ケアマネジメント事務所をその1階に移転しました。塩谷様は長年、この建物の一部を倉庫として町内会に無償貸与され、夏にはガレージスペースを地蔵盆の会場として提供されてこられた経緯があり、この建物はまさに地元地域の交流拠点と呼ぶにふさわしい場所です。当グループは、この企業市民としての塩谷様の志を模範として、この地域交流の拠点を受け継いでいくことを決意しました。新型コロナの感染拡大による社会不安のなか、募らせてきた地域に対する親愛や感謝の思い。私たちは、その表現方法の1つとして、『銭形まつり』の復活を果たしたいと思います。未だコロナの脅威が続いているため、以前とは少し違った内容となるかもしれませんが、地域の皆様に安全に楽しんでいただけるイベントにしたいと考えています。



《2018年開催 銭形まつり》

ご利用者様アンケートの結果のご報告

今年3月に銭形グループ全体で実施いたしました『ご利用者様アンケート』の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。今回も、ご利用者様にはお忙しいなか、アンケートにご協力いただき誠に有り難うございました。結果の詳細は、当グループのホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

銭形グループのホームページからご覧いただけます。

<https://zenigata-kyoto.com/>

銭形 京都

検索

新任スタッフのご紹介

昨年末からこの春にかけて、新たな顔ぶれが銭形グループのスタッフに加わりました。既にお馴染みの顔もあるとは思いますが、改めまして、お引き立ての程よろしくお願ひ申し上げます。



岡田 唯 訪問介護銭形所属

「未経験ですが、1日でも早くご利用者様に慣れ親しんで頂けるヘルパーになれるよう頑張ります！」



藤井 暉 訪問介護銭形所属

「介護の仕事は初めてなので、ご迷惑をおかけする事も多いと思いますが、よろしくお願ひ致します。」



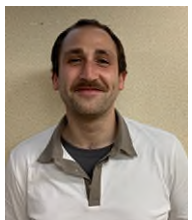
齊藤 翔太 訪問介護銭形所属

「新人らしく失敗を恐れず、何事に対しても前向きに挑戦して行きたいと思ひます。よろしくお願ひします。」



古澤 昭平 訪問介護銭形所属

「銭形に入社し、毎日が初めての経験ばかりですが、全身全霊、真心こめて頑張ります！」



ランビッチ レオン
デイサービス銭形所属

「ご利用者様が幸せに過ごせるよう、心をこめてお世話させていただきます。」



西谷 信行 デイサービス銭形所属

「デイサービスでの看護の仕事は初めてですが、楽しく頑張りますのでよろしくお願ひ致します。」

『銭形 Times vol.48 春号』 発行元：銭形グループ 銭形 Times 編集室 林果穂・深水陽梨 他
〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町 594 番地 33 (株)銭形企画
TEL : 075-353-4899(代) FAX : 075-354-3037
URL : <https://zenigata-kyoto.com>